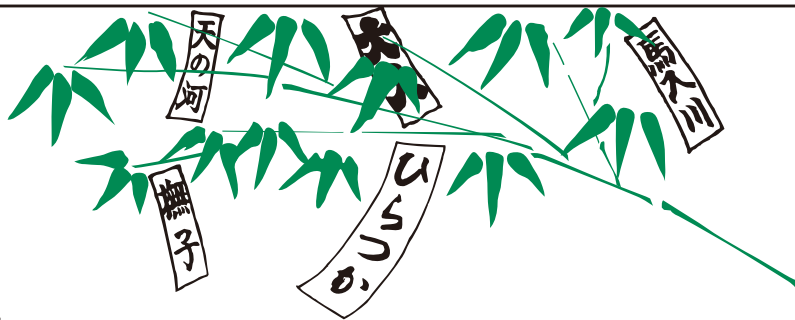




2011～2012年度 国際ロータリーテーマ

Reach Within to Embrace Humanity

「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」



HIRATSUKA R.C. WEEKLY

- 会長 杉山善弥 ● 副会長 牧野國雄 ● 幹事 鶴井雄仁 ● 会報委員長 小野 学 (2011～2012年度) E-mail:hiraturc@ma.scn-net.ne.jp
- 例会日 毎週木曜日 12:30～13:30 ● 会場 グランドホテル神奈中 平塚2F ● 事務局 平塚市松風町2-10 平塚商工会議所内
- 四つのテスト 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

第2832回 2012年3月15日(木) グランドホテル神奈中 週報第2832号

本日の卓話者ご紹介

女性防災クラブ平塚パワーズ

会長:菅野由美子様 副会長:木村美江子様

書記:小川弘子様 会計:早坂尚子・小泉和美様



卓話

防災講座

「これで無ければ」と言う物はありません

〈帰宅困難時の心得〉

- *むやみに移動を始めない *事前に家族で話し合い
- *声を掛けあい助け合い *安否確認、災害用伝言ダイヤル、遠くの親戚、知人に連絡先を置く

1 災害時用 ロッカーに備えていますか

服装……長袖、長ズボン、靴下、下着、ヘルメット(防災ズキン) マスク、スニーカー(底の厚いもの)か登山用の靴、皮底の靴、手袋、他
皮底の靴をつぶして底にする(路面が熱くなっているとき靴底を守る) 他
(他)ズボンの裾は靴下の中に入れてたり、布で巻いて足もとを守る

持ち物……リュックサックを用意する。磁石
帰宅経路の地図、懐中電灯(手巻き発電式AM FMラジオ) 雨具、防犯ブザー、タオル、ビニール袋(大・中・小)、救急用品、他
トイレトーパー(芯をつぶす) コップ、アルミシート、カイロ

食料・水……・非常食、水は1人1日3ℓ必要(日頃使

用し補給を忘れずにする)

- チョコレートやキャラメル、カロリーメイト、梅干し
- 供給ステーション(ガソリンスタンド、救護所など)で確保

他……………帰宅する場合はグループで移動する

2 アイディア防災頭巾づくり

防災頭巾を一工夫……男性用・女性用



バスタオルに下着や・靴下・シャツなど自分のサイズに合った品物をしつけ糸でザクザクと縫いつける。タオルでポケットを作りカイロや身分

証明・アドレス帳など入れることも出来る。

3 パワースポーチ

メンバーがいつも持ち歩く便利グッズ紹介

4 身の回りにあるもので応急手当

 [注:家族以外の血液には素手で触らない(ビニールなどで保護)]

腕のケガ……清潔なハンカチ(傷に当てる)スカーフで巻く
腕の固定……骨折の可能性がある場合は、雑誌や新聞紙などを使って固定する

手のひら(甲)……バンダナなど

足首の固定(靴の上から可能)……スカーフ、ネクタイなど、三角巾、Tシャツ、ハンカチを何枚か結んでつなげる

あると便利なもの……ストッキング(頭部・腕) レジ袋
*本日は、ネクタイを使って足首を固定します(体験)

5 段ボールトイレ……いざという時に役立つ段ボールトイレ紹介

女性防災クラブ 平塚パワーズ プロフィール

パワーズの誕生……平成7年阪神淡路大震災の教訓から平塚市が行なった女性防災リーダー育成研修受講後、「市民の皆さんと防災についてもっと考えたい」という思いから「女性防災リーダー平塚パワーズ」を30名で立ち上げました。平成18年に女性防災クラブ 平塚パワーズに改名

活動目的……災害時の地域活動に参加(研修継続)

<出席報告>

本日 3月15日	会員数 59名	対象者 53名	出席者 37(34)名	出席率 64.15%			
前々回 3月 1日	会員数 58名	対象者 52名	出席者 43(38)名	出席率 73.08%	MUP 2名	計 40名	修正率 76.92%

災害時の初期応急手当（訓練継続）
災害に強い安心・安全なまちづくり（啓発活動を展開）

組織運営…年1回総会
年会費 1,000円
年齢制限なし
平塚市内を6つのブロックに分けて活動（住居地）
役員任期2年
役員（6名）運営委員（各ブロック2名）
役員会・運営委員会・ブロック定例会各月1回

会員数…55名（23年度）30代から70代
活動内容…啓発（防災週間パネル展示・公民館まつり・市主催行事）
防災訓練指導（地域自主防災訓練・保育園・小学校・中学校・平塚市総合防災訓練・施設訪問・他団体との共催事業）

研修 年2回全体研修会・勉強会（消防職員・危機管理課職員に講師依頼）・心肺蘇生法AED操作
交流 セタ祭り・親睦会

表彰…日本消防協会賞受賞（平成13年）
第15回全国婦人消防縦火大会「優秀賞」受賞（平成13年）
平成20年度防災功労者防災担当大臣表彰受賞
平成22年度神奈川新聞社・神奈川新聞厚生文化事業団主催「第23回神奈川地域社会事業賞」受賞

発行物…「防災知恵袋」平塚市危機管理課との共催
私たちの歩み 10年史・15年史
「パワーズだより」内部情報誌（平成22年4月16号発行）

<委員会報告>

新世代委員会 鳥海衛一委員長 『第42回 少年少女マラソン大会』

3月18日（日）に開催されました第42回少年少女マラソン大会は、前日から雨の心配をしましたが、当日は曇天ながらも気温も選手たちにはちょうど良い気候になりました。小中学生、男女 約340名の参加を得て、開会式では、杉山会長から激励の挨拶があり、選手宣誓、準備体操を経て、小学生の男子2kmから大会がスタートしました。

今回よりオーロラビジョンに選手の走る様子も映し出され、スタンドからの声援もたいへん盛り上がりました。大会の進行、運営も時間通りに順調に進み、各組の競技は本当に白熱して、選手たちの日頃からの練習の成果が発揮された大会になりました。

閉会式では成績発表が行われ、各学年、各組の上位入賞者にロータリーのメンバーから賞状とメダルの授与がありました。閉会式後に鶴井幹事が用意していただいたお弁当を美味しくいただいて終了になりました。

平塚ロータリークラブの主催のもとに各関係団体と長年にわたり行われてきたこのマラソン大会が子供たちの健全な心身の育成をさらに進めていけるようにこれから



も応援していきたいと思いました。

最後にこの大会の運営に中心になってご尽力していただきました平塚市陸上競技協会をはじめとする皆様と当日参加をしていただきました平塚ロータリークラブのメンバーの皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございました。

<会長報告>

◎タウンニュース3/1号に、いわき訪問の様子が載っています。

福島の小学校に楽器等を寄贈

地元の7つのRCの手で現地へ

地域で奉仕活動を展開する7つのロータリークラブ（平塚・大磯・平塚北・二宮・平塚西・平塚南・平塚湘南各RC）のメンバー20名が先月23日、東日本大震災で被害を受けた福島県いわき市の小学校を訪れ、楽器やスポーツ用具等を寄贈した。

これは、米国の高校生たちが東日本の津波被害を知り、5千ドルの義援金集めに奔走したことがそもそものきっかけに。その後、現地のRCが友好クラブである大磯RCへこの義援金の有効活用に向けた調整を依頼。同市のいわきRCと共同で、まず同市立江名小学校へ楽器等を贈ることが決まったという。

現在、江名小学校には津波で大きな被害を受けた永崎小学校が同居。そのため、1校だけを支援するのは忍びないとの思いから、他の6クラブで永崎小学校に楽器等を寄贈する方向でまとまった。

今回寄贈された支援物資は、江名小に楽器4種類・図書館用本棚・体育館用ミニサッカーゴール、永崎小に楽器3種類・スポーツ用品4種類・靴箱・飾りケース・教卓・会議用テーブルと椅子。総額は300万円ほどにのぼるといふ。

<メイクアップ>

2名

大垣正勝、鳥山優子会員

<ゲスト>

5名

菅野由美子様（卓話者）、木村美江子、小川弘子、早坂尚子、小泉和美様（防災パワーズの皆様）
小林 昭様（入会前ゲスト）

<ビジター>

0名

<本日のスマイル>

11名

<卓話・行事予定>

- 3月22日（木）松村悠美子様
- 29日（木）休会（定款による）
- 4月5日（木）城崎陽子様
- 12日（木）企業訪問 崎陽軒横浜工場見学
- 19日（木）小笠原 勲会員

<市内例会変更>

平塚西 4/4（水）→3/25（日） 移動例会